

# BC州の主な産業

BC州の産業は、その豊かな資源から生まれている。林業、鋳業、観光、農業、漁業——いずれも自然が与え、人間が上手に生かしている。育んだものである。製造業は生産高で第一位だが、それともこれら資源の加工が主な内容となっている。

## 林産業

### 州最大の収入源

### 輸出額でもトップ

域の七倍である。

樹木の主な種類は（ムロック（米ツガ）、

スアールス（針モミ）、バルサム、ロツ

ジポール、パイン、レッドシダー、タ

グラスファア（米アツ）など。沿岸では

ウエスタン・ヘムロックが多く（四一パ

ーセント）、内陸部ではウエスタン・ス

アールスが主な樹種（三八パーセント）

である。グラスファアは主として太平

BC州の発展を当初から支えてきたのは森林である。林業は、カナダ太平洋鉄道

の完成（一八八五年）を契機に急速に発

展し始め、今では州収入の約半分を稼ぐ

州最大の資源産業となっている。

森林は州総面積の約五六パーセント、

五十二万平方キロを占め、商業用木材資

源の量は八十億八千二百万立米にのぼる。

BC州は、針葉樹の王国である。州内

森林の九七パーセントが針葉樹であり、

これはカナダの針葉樹林の六割に当たる。

地形と気候によって大きく二つの森林地

域に分かれ、暖かく雨量も多い沿岸山脈

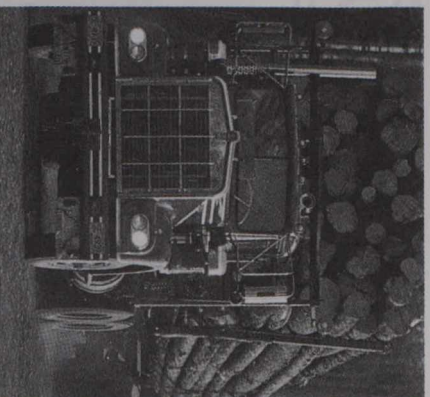
西側には、密生した大きな樹木が生育し

ている。一方、沿岸山脈東の内陸地域は

成長の遅い小さな樹木が多い。しかし広

さは沿岸森林の六倍、約四千四百二十万

ヘクタールもあり、年間生産高は沿岸地



洋北西岸にしかないことから、値段も高く、植林の主要樹種となっている。

森林の九五パーセントは州政府が所有し、伐採業者は州から免許をもらって木の切り出しや管理育成を行っている。

BC州の森林は、年間九千九百万立米の伐採が可能だが、一九七九年の伐採量は七千六百二十万立米であった。林業に

従事する人は

州内労働人口

の約七・四パ

ーセントにあ

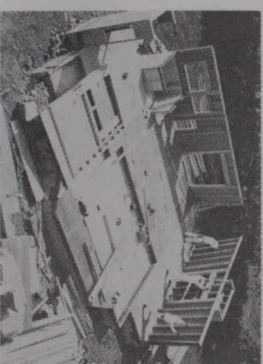
たる九万四千

二百人だが、

ほかに一五パ

ーセントの勞

働者が林業機



BC州産木材で建てられる2x4住宅協会（写真・日本ツーパーバイナー建築協会）

うものである。近年に至って、国内的には自然公園など保護区域の拡大、伐採規則の厳格化、あるいは伐採地の奥地化などによって、国際的には米国南部やブラジルとの競合によって、業界も長期的な森林資源の保護育成、伐採・輸送・製造の近代化を迫られてきた。BC州では、丸太輸送にヘリコプターや気球を導入し、品種改良に努め、森林利用の多角化を図っている。

## 鋳業

### 豊富な金属・非金属

### 進む石炭・油田開発

BC州第二の産業は、鋳業である。州の大部分は、幾多の鉱物の発見で有名なカナダ・コルデレトラ層に属しているため、いろいろな鉱物や化石燃料が豊富に産出されている。

金属では銅、モリアデン、金、銀が四大産品で、このほか亜鉛、鉛も多い。ア

スベスト、硫黄などの非金属鉱物も産出

している。

一九八二年の鉱物生産額（概算）は一

十八億ドル。このうち銅が四億八千万

ドル、モリアデン一億八千万ドル、銀

一億三千六百万ドル、金一億一千二百万

ドル、アスベストや硫黄等工業原料鉱物

確保することを目的として連邦政府と州

七九年には、林産業の活力を長期的に

九年に新しい森林法を制定し、免許業者

は厳に戒められている。州政府は一九七

樹木の四分の一を有するとはいえ、乱伐

物を米国、日本、EC諸国へ輸出した。

州の輸出品の中でも、林産品は金額に

業は、州内の製造業全体の中で第一位、

なる。製材所や合板工場などの木材関連

一人が森林関係にタッチしていることに

機など関連分野で働いており、約五人に